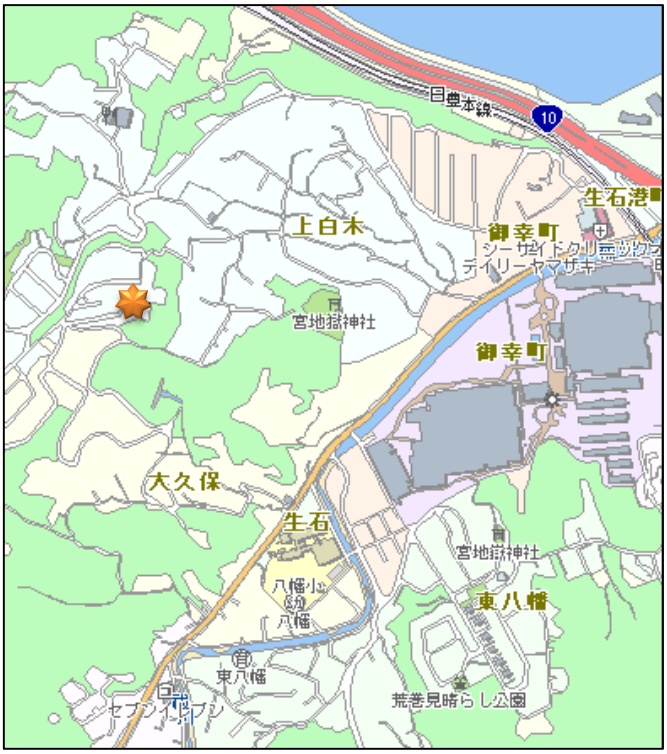
風景写真部門

８．海なみ（うみ）

DATA

撮影者　藤田　雅子
撮影地　大分市大字神崎上白木

【撮影者コメント】
　大分に嫁いで１３年の月日が流れました。東京で知り合った夫の郷は大分市。生まれも育ちも埼玉の私からすれば、別府や湯布院のイメージしかなく全く予備知識のないお嫁入りでした。しばらくは言葉もわからないし、もちろん知り合いもいません。いやでいやでしょうがありませんでした。そんな私のことを気遣い、夫は毎週のように色々なところに連れ出してくれました。最初は二人でしたが、現在は子供と一緒に３人で様々な表情の大分市を見ています。
今回応募した写真はいわば風景のごった煮です。しかし大分市の魅力は、全てが１枚の写真に入るコンパクトな街ではないでしょうか。
　写真のとおり山、港、街、町、工場そしてきれいな海をひとつのファインダーの中に収めることができます。そしてそれは、現代を生きる人間にはどれを欠いても心地よく生活することができない大切なものなのです。
　１３年経ちました。今は大好きな街です。

MAP